

議員案第45号

健康保険証の存続を求める意見書

上記の意見書を次のとおり提出する。

令和5年9月20日提出

小金井市議会議員

水谷 たかこ

鈴木 成夫

高木 章成

片山 かおる

森戸 よう子

健康保険証の存続を求める意見書

政府は、令和6年秋に現行の健康保険証を廃止し、マイナンバーカードに一本化する法案を令和5年6月2日に可決・成立させた。しかし、厚生労働省が発表した7,312件に上る被保険者資格情報の誤登録（令和3年10月から令和4年11月まで）をはじめ、マイナ保険証に関するトラブルが続出し、多くの患者・国民が不安を抱えている。

東京保険医協会が会員に対して実施したアンケート調査（令和5年5月25日から令和5年6月5日まで実施、FAX送信4,770件、回答数622件）では、オンライン資格確認システムを運用する医療機関535件のうち、351件（回答528件中66.5%）が何らかのトラブルを経験しており、そのうち他人の情報がひもづけられていたケースが11件あった。別人の情報に基づいた診療・投薬は、重大な医療事故につながりかねない。

マイナ保険証とオンライン資格確認システムが、保険資格確認の手段として確実なものではないため、医療機関では現行の健康保険証を持参するよう患者・国民に呼びかけているのが現状である。病気を持つ人はもちろんのこと、病気を持たなくても不慮の事故や病気に備えて、多くの人が健康保険証を常に携帯しているが、マイナンバーカードは実印にも等しい機能を有しており、日常的に持ち歩くことは危険である。

よって、小金井市議会は、政府に対し、誰もが安心して医療を受けられるように、健康保険証の廃止は中止して、存続することを求めるものである。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和5年 月 日

小金井市議会議長 宮 下 誠

内閣総理大臣 様
総務大臣 様
厚生労働大臣 様
経済産業大臣 様
デジタル大臣 様